

潮音寺だより

第 268 号
平成 18 年 2 月
電話 052-671-4831
ファックス 052-671-4856

<ホームページ> <http://www.ne.jp/asahi/choonji/namo/>

〒456-0034 名古屋市熱田区伝馬 1 -10-11



Buddhaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.

ブツダン サラナン ガツチャーミ
南無帰依仏 私は仏陀に帰依します。

Dhammaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.

ダンマン サラナン ガツチャーミ
南無帰依法 私は仏陀の教えの妙法に帰依します。

Śaṅghaṃ Saraṇaṃ Gacchāmi.

サンガン サラナン ガツチャーミ
南無帰依僧 私は仏陀の教えを守る僧そうぎや伽がに帰依します。

写真:「アブチロン」葉山 幸

安心について安心

一月十五日付の中田新聞に、今日の日本仏教学界の重鎮、文化功労者でもあられる前田惠學愛知学院大名誉教授が、「仏教とは何か」という問いに対して、「仏教とは、釈尊を開祖とし、涅槃ないし、悟り救いを最高究極の価値ないし目的として、その実現を旨とし、世界の諸地域に展開している文化の総合的な体系である」と定義づけられています。

ただ、この説明は、「仏教の本質」を理解しようとするものではなく、学校のような公平な立場から「仏教全般」を理解するためのものであることが、前置きとして述べられております。いかにも仏教学者らしい、やや硬い表現ではありません。

仏教にかぎらず、宗教を理解しようとするとき、この公平さというのは、はなはだやっかいな問題になります。

といいますのも、宗教は、恋愛と似たところがあまして、どうしても、自分の信仰する宗教に対して最良目になりがちで、アバタもエクボ的な判断を、ときとして良しとしてしまうところがあります。小泉首相が靖国神社参拝にこだわっているのも、このあたりが関係しているものと思われます。

また、いかに銀幕のスターが素敵で格好良いからといって、ようは、自分の夫や妻と夫婦仲良くできればそれがいちばん良いのであって、異なつた宗教を比較して優劣を云々することは、あまり賢明なことではありません。しか

も、恋愛論もそうでしょうが、学問として細かに分析したり、考えたりすると、現実の生活からはかけ離れていってしまいます。

ですから、私などは、「仏教とは何か」という問いに対して、「安心を得るための仏陀の教え」ぐらいに、簡単にとらえた方が良いのではないかと思っています。

私どもが生きていく上で、危険のないこと、そして、安心して暮らせることが何よりも大切なことではないでしょうか。しかし、世の中には危険がいっぱいあり、特に現代社会は、ストレス社会ともいわれ、さまざまな不安をかかえ、程度の差こそあれ、心を病んでいく人が多くいます。

仏教は、そんなわれわれに、どんな環境、状況下にあっても、不

安を取り除き、安心が得られる智慧を授けてくれる教えであると思っております。

ところで、安心の「安」という文字は、「家の中」に「女がすわっている」をまじり、静かにとどまるから、「やすらわ」の意味になったとのこと。現代女性には不服な点があるかもしれませんが、やっぱり、家庭といつものは、女性がいることによって、落ち着き安心できるということなのです。

角川書店『字源』によりますと、
 ○やすし。危の対「平」。「一」主曲礼「人有礼則無礼則危」○やすんず、やすらわか、おたやか「必」「一」寛「○しずか(徐・静)」「恬」「一」静「○しずまゝ、さだまゝ(定)」「○しずめ、おちつかす」「民」○やすん、置く「一置」○た

のしむ(供樂)「○しずまる(止)」「○しずくそぞ、いづくにか、否定の意をあらはす反語。＝焉。○【国】やすし(廉徳)」「一置」「一価」と、なっています。

説明文中の『曲礼』と「礼」のは儒教の書物『礼記』の編名です。儒教では、「礼」こそ社会の秩序を保つための生活規範であり、最も重要な道徳的観念であるとされています。それは、「礼儀」「祭祀」という言葉が示すとおり、現代にもその思想が色濃く残っています。つまり、儒教にあつては、「礼」のない社会は危うく、「礼」によって「安心」が得られるといつことであるります。

一方、仏教では、悟りにあつて心の平安を獲得できることとされています。それを「安心」といいます。

釈尊のように、悟りを得るといふことは、はなはだ難しいことではありますが、そこを、一歩でも、二歩でも、近づいていこうという努力が、仏道修行ということでもあります。わが一生は一度きりですが、かつて、釈尊を始め、先人達が奮闘努力された智慧の蓄積があり、それを少しずつ身に付けることは、自信となり、降り掛かる不安にも対処できるよつになるものです。

しかし、凡夫のさだめ、限界があります。その時にこそ、法然上人の、「学問をして念のころを悟りて申す念仏にもあらず。ただ往生極楽のためには、南無阿弥陀仏と申して、うたがひなく往生するぞと思ひ取りて申す外には別の仔細候はず」によつて、安心を得ることが出来るのです。

版画カレンダー

◎一月

元気は自分から

滋賀県止福寺感薬師如来

平安期 国重文

「さあ、元気を出そう」とは他人の誰も言ってくれない。自分自身がやるしかない。

◎二月

いろいろするな くよくよするな ゆっくり じっくり

大分県

国重富貴寺本堂内の阿弥陀如来像

ある時、ある薬局に薬をもらいに行った時、糖尿病患者者に対しての心構えのポスターを見て、最後の「糖尿病」の文字を取り除いた。私たちの人生もこうでありたい。

◎三月

仏法は聞・思・修

北魏砂岩二尊仏本尊

仏法はまず聞き、それを自分にとつてどう受け入れたらよいかを考え、次にそれを実行する。

◎四月

何事も握りしめないこと

銅製釈迦誕生仏

白鳳期 専修寺蔵 三重県指定

「握りしめる」とは持つて離さないこと。時々離さなければいけない。

◎五月

私たちは仏光浴の中にいる

木造菩薩立像 兵庫県立博物館蔵

広岡「レクシオン」平安期

去る昨年十月の十輪寺の集いの第二百回記念大会の際、講師の元仏教大学学長、現浄土宗宗務総長水谷幸生先生のことばで、我々は阿弥陀様のお慈悲の中で過ごさせ

て頂いている。(解説文 版画制作者 高砂十輪寺 西田光衛上人)

雑記

▼位牌堂

積雪等によって、工事がどうしても遅れてしまい、上棟式は、二月十日に延期されました。

鉄骨の組み立てが、十二月二十四日から始まり、一月十八日、最上階のドーム部分が設置され、全体の骨組みが完成しました。

▼表紙

「自宅の庭に咲く、可愛いランプのような「アプチロン」の写真的な賀状を、葉山幸様より頂戴したので、使わせて頂きました。

▼移植せし蕾ふくらむ

冬椿 沐魚

